

## 【様式1】

## 令和5年度 授業改善推進プラン

## 東久留米市立南町小学校 第3学年

教科	学力に関する各調査に基づく児童の学習状況分析 (数値等で具体的に示す)	具体的な授業改善策及び目標値 (数値等で具体的に示す)
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>話す内容を相手に合わせて話し、頷きながら聞くことはできるが、気が付いたことを伝え合うことが苦手な児童が20%程度いる。</li> <li>文章を書くことが苦手な児童が20%程度いる。</li> <li>文章を正しく読み取れない児童が20%弱程度いる。</li> <li>漢字を正確に書けない児童が20%弱程度いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉を意識するために、話し方や聞き方の心得を掲示し、授業の中で取り入れる。</li> <li>はじめ・中・おわりの文章構成を意識させるために、日記や感想文を週1回程度書く時間を確保する。</li> <li>文章の内容を読み取るために、繰り返し音読をすることや本に親しむ時間を週1時間程度確保する。</li> <li>新出漢字の学習の時間を国語タイムを使って確保し、正しく書き取る練習と反復練習をさせ、定期的に確認テストをする。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡単な四則演算はできるが、理解して活用することが難しい児童が20%程度いる。</li> <li>数量や表やグラフなどに表したのものから、その関係を読みとることに課題がある児童や、数量やその関係を言葉にし、図や表に表すことに課題がある児童が20%程度いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>算数タイムや授業の終わりの5分間、家庭学習で補い、問題に取り組む時間を確保する。</li> <li>問題文を読み、内容を把握することで全体を捉えながら整理する見方、考え方の時間を確保する。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動に苦手意識をもつ児童と得意な児童の差が大きい。</li> <li>すすんで運動や外遊びをする児童は全体の8割近いが、思考判断ができる児童は10%程度である。基本的な動きや技能を理解し、運動を行うことができる児童は40%に満たない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>段階的に練習できる場を設定し、自分の力に応じて活動を選べるようにする。スモールステップで取り組む場や見通しをもたせる場を設定することで技能の向上を図る。</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>物事を自分以外の人や物事に目を向けて、考えることが難しい。</li> <li>学習したことを振り返りの生活の中で活用したり行動に移したりすることが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分以外の様々な見方や考え方について、具体的なイメージがもてるようにロールプレイ等を取り入れて気付かせる。</li> <li>ペアやグループで考えを出し合って、多面的・多角的なものの見方を整理してよりよい行動につなげさせる。</li> </ul>

次年度に向けた  
自己評価  
(A・B・C)

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_